

港北区災害ボランティア連絡会ニュース

事務局 〒222-0032 横浜市港北区大豆戸 13-1 吉田ビル 206 港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX 045-531-9561

HP <http://kouhoku-saibora.jimdo.com> FB 港北区災害ボランティア連絡会

第 68 号

2018 年 9 月



* 入会は随時受け付けています。あなたの町の防災度を高めるためにお力を貸してください

西日本豪雨災害 現地報告&支援活動

西日本に上陸した台風7号は12時間のうちに四国中国を中心に11府県に警報が出されるほどの同時多発の水害被害をもたらした特異的な災害でした。しかもその後に来るで被災地を狙っているかのような台風18号の動きがありこれも気象常識を覆すものでした。全国から数多くの支援が寄せられていますが被災地の広さに比べれば経験あるボランティアコーディネーターもボランティアも足りません。そんな現場への対応で出来ることを考え、実行してみました。

広島県坂町家呉市を回ってきました。ゆめかぜ基金が新設した障害者災害見舞金制度を社協や行政に説明し情報が届くよう協力をお願いすることが目的ですが、合わせて被災地NGO共同センターが行っている足湯もお手伝いしてきました。

この地域の被害の特徴は砂や小砂利が山から流れ落ちてきてあたり一面を埋め尽くしていることです。花崗岩が風化した真砂土だそうで、普通の水害と違い排出が極めて困難で人力だけでは追いつきません。大量の重機が必要ですが、この日の現場で動いていた重機は5台程度。人力も必要ですが重機があればもっと早く被災者に安心感を与えられるのにと痛感しました。

プロボノ系重機ボランティア

プロボノとは仕事上持っているスキルをボランティア活動に生かすことです。最近はや弁護士や司法書士などがその知識を生かした活動を始めていますが、最初にこのような活動を行ったのが重機系ボランティアでした。災害現場に重機が入れば人力の何十倍もの能率で片付けができます。人力は機械が入らない細かいところを担う棲み分けで効率よく片付けができます。

重機ボランティアの中には全国各地を転戦し、1年中現場で普及活動をしているメンバーも多くいます。大きな災害現場での緊急復旧から復興、そして新しい地域社会への創造といったグランドデザインを持った支援活動を統括する組織が必要です。災害大国日本に災害対応専門の官庁がないと言う事は役人の中に専門家が育たないことも意味します。

ハザードマップは正しかった

そう言われているのが岡山県倉敷市真備町です今回の市街地がハザードマップで指摘さ

れた地域と重なっていました。前号で報告した港北小学校での訓練場面でもハザードマップへの質



家の中も同じ、坂町小屋浦地区

間がありましたが、提供された情報を正しく読み取らなければ何にもなりません。

(宇田川)

西日本豪雨災害募金活動に学ぶ

7月、西日本の広い範囲で大雨による洪水被害を受けました。当連絡会としてもできる限りの支援をと思い、区内各団体に募金とタオルや雑巾の募集呼びかけをさせていただきました。

7月22日に新横浜駅頭で行った募金活動では、ボーイスカウト横浜第8団の協力も215,240円の募金を集める事が出来ました。これは全額日本赤十字社へ義援金としてお届けしました。その他会員が各方面に呼びかけた結果集まった募金は140,239円(8/28現在)で、こちらは被災地で支援活動を行っているレスキューストックヤードにお送りしました。

タオル・雑巾は我々の予想をはるかに超え

タオル・雑巾収集日の作業風景



た数が集まりました。収集当日には、災ボラだけでなく区ボラ連の皆さんの協力をいただいて整理に当たり25箱程にもなりました。

当初、連絡会が提携している名古屋のレスキューストックヤードへ送り、被災した方々の生活を支える一助にさせていただき予定にしておりますが、時が進む中状況は変わり、すべてをすぐに送付することはできませんでした。その時、我々はその保管スペースに困り、又皆さんの暖かなご厚情にお応えできるのか不安になりました。タオル・雑巾の必要な所はあると思いますが、それよりも急を要する事案がきっと沢山あったのだと思います。保

管については区役所で一時保管をしていただくことになり、現在も送付先を模索中です。私たちは少しでも支援をという熱い思いを持ち活動していますが、現状を見ることなく動く難しさを改めて知ることとなりました。

尚、タオル・雑巾の10箱は広島県三原市災害ボランティアセンターへ送らせていただきました。送料は皆様から頂いた募金の一部を使わせていただきました。

現地ではまだまだ支援の手が必要です。私達も状況を見極めたうえで、支援が届けられたら良いと思っています。(付岡)

家は立て直せます。「保険」

を信じて「命」を大切に！

～でも、あなたの「保険」大丈夫ですか？

災害が相次いでいます。西日本の被災者の方からも「復旧のためのお金が心配」というお声があります。しかし、火災保険で保証される場合も多くあります。

ケース1 風災 (保険金が支払われる場合)

台風、旋風、竜巻、暴風等による風災(洪水、高潮等を除きます)、雹災または豪雪、雪崩等の雪災(融雪洪水を除きます)の場合、保険金が支払われます。(吹込みまたは雨漏りなどによる損害を除きます。)

ケース2 水災 (保険金が支払われる場合)

台風、暴風雨、豪雨等による洪水・融雪水害・高潮・土砂崩れ・落石等によって、床上浸水もしくは地盤面より45cmを超える浸水を被った場合、保険の対象に損害が生じた場合は再調達価額の30%以上の損害が生じた場合、保険金が支払われます。

*再調達価額：いま同じものを取得(建設)するのに必要な価額。事前に、引き受け保険会社と協定してきめます。保険会社が標準的なテーブルをもっています。

「ケース1」と「ケース2」の違い

風災は損害があれば保険金支払いの対象となります。一方水災には、「床上浸水もしくは地盤面より45cmを超える浸水を被った場合、保険の対象に損害が生じた場合は再調達価額の30%以上の損害が生じた場合」という条件がつきます。

支払われる保険金は、どちらも「損害の額—免責金額」となります。ただし、建物の全損・全焼の場合は、保険金額全額が支払われます。

また、契約によっては種々の諸費用が支払われることがあります。

【ここを「確認」してください】

- (1) 風災・水災は、特約で「支払い対象外」とすることができます
風災・水災は、特約で「支払い対象外」とすることができます。支払い対象外とすると保険料が割安になります。私の自宅は、「水災不担保」です。また西宮の実家は、どちらも不担保にしています。不担保にするのはあくまでも「自己責任」です。
ただ、住宅ローン借入時に借入と一緒に火災保険を申し込んだ時に「安いほうがいい」「一番保険料の安いプランを」というと、どちらかあるいは両方が不担保になっていることがあります。ご自身の契約をよく見直しておいてください。
- (2) 保険金額は「再調達価額」になっていますか
いまその保険金額でご自宅は再建できますか？家財は買い直せますか？見直しをお願いします。
- (3) 地震による損害は火災保険では対象外です
地震・噴火・津波による損害は火災保険では対象外です。別途、地震保険の加入が必要です。地震保険は加入でき



屋根の応急修理（大阪北部地震）保険が出れば
台風21号で飛ばされてしまったケースが多発

る保険金額の限界があり、地震保険では自宅の再建はできません。しかし、保険ですこしでもローンを返済することで、その後の負担がずっと軽くなります。

【契約内容がわからないときは】

お手元に「重要事項のご説明」があれば、それをぜひご一読ください。また、証券はなくても、長期契約であれば毎年「契約確認書」が郵送されていると思いますので、それでご確認ください。

それでも契約内容がわからない、見直したいけどどうすればいいかわからない、そんなときは下記にご相談ください。

- (1) 代理店で契約された場合は、代理店にご相談ください
- (2) 保険会社がかかっていれば、保険会社のカスタマーセンター（またはコールセンター、お客様相談室 など）に電話することで相談に乗ってくれます。連絡先は、各社のホームページで確認できます。

昔は「もしものときは通帳と印鑑を持って逃げろ」といわれたものです。でも今は、そんなものなくても預金は保全され引き出しもできることをみんなが知っています。保険も昔に比べれば数段、保証内容がよくなってい

ます。納得いく保険を契約して、まずは「命」を守ってください。保険がしっかり手配できていれば、復興も早くなります。

リレー連載 我が家の防災 ⑬

岩撫さんちの防災

防災を強く意識するようになったのは、東日本大震災でした。

当時、都心にある会社に派遣されておりましたが、発災数時間後に「派遣は帰ってくれ」と、オフィスを出されてしまいました。災害用備蓄食糧がありましたが、「これは正社員用」として、分け与えてもらえず、水筒に水を詰めて、自宅へと歩き始めました。6時間あまりかけて、夜11時近くに家にたどり着きました。翌日、スーパーは品不足で休業、ガソリンスタンドも休業でした。

この頃からでしょうか、ビジネスパーソンの間でリュックサックが流行るようになったのは。先日の大阪の地震でも、帰宅困難者が大量に出たようですが、また、自分がそうならないとも限りません。ささやかな備えをしております。

1. 勤務先から自宅への徒歩経路を確認しておく
 2. 歩きやすいビジネスシューズを選ぶ
 3. 革製のリュックに変えて、水筒を持ち歩く
 4. 家には、数日分の食糧と水を確保しておく
 5. 自家用車のガソリンは満タンにしておく
- 共助の前に、自助が重要と思い、このような防災の備えをしております。



通勤用バッグ

お勧め災害本

「水害にあったときに」

震災がつなぐ全国ネットワーク・編

ほとんどの人にとって住宅被害を伴う災害に会う事は初めてでしょう。そのため最後の生活をどうしたら良いかの知識を持ち合わせていない方がほとんどです。そこで我



慢をしてしまい健康被害を起こしたり経済的損失を被ってしまうことがよくわかっています。この小冊子は祖母行った不利益を被らないため、過去の災害からの教訓を実践的にわかりやすくまとめたものです。生活再建までの見通しを立てること、助けを求める相手先一覧、必要な法的知識(罹災証明、災害救助法や被災者生活再建支援法など)汚れた家を片付ける際の留意事項、そして災害経験者の貴重な証言が載っています。

現在は水害被災地への発送を優先しているため頒布していませんが、落ち着いたらば増刷をして一般販売もする予定です。現在は簡略版がネットに載っています。

(震災がつなぐ全国ネットワーク「水害にあったときに」で検索)

編集後記

- ☆広範囲に同時に災害が起きたらボランティアは絶対に足りません。まずは一層の自助体制を (宇田川)
- ☆25年振りの大型台風の強風に思いもつかない物が飛ばされ、多くの被害が出ました。災害が続く⊕…(付岡)
- ☆災害が続いています。言葉もない日々です。今の生活で、電気が本当に重要ですね。(中島)
- ☆保険の話は勉強になりました。(室伏)